

# 平成29年度第2回緑区区民対話会 議事要旨

日時：平成30年3月23日（金）18時00分開始

場所：緑区役所5階 講堂

参加者

〔椎名地区〕9名（椎名地区町内自治会連絡協議会、社会福祉協議会椎名地区部会、第503地区 民生委員児童委員協議会、椎名地区スポーツ振興会、日本赤十字奉仕団23分団）

〔事務局〕山崎区長、角川副区長

緑区地域振興課地域づくり支援室…鈴木室長、鈴木、桑島  
市民自治推進課公益活動班…竹田課長補佐、北田主任主事

- 1 開会
- 2 地区連協会長挨拶
- 3 緑区長挨拶
- 4 (1)「平成29年度区民対話会（椎名地区）椎名地区データ資料」について  
区からの説明・質疑応答・意見交換  
(2)「地域住民による持続可能な「助けあい、支えあい」のために～地域運営委員会の設立について～」を市民自治推進課からの説明・質疑応答・意見交換

## 4. (1) 椎名地区の現状と課題について

- 椎名地区の町内自治会加入率についてですが、新たな建物が建つときに区が自治会加入を促しているか。
- 自治会に未加入ながら防犯街灯などを利用している人達には、区から加入促進の呼びかけをしているか。

<区役所>

加入の促進については市政だよりに関連記事の掲載、マンションの管理組合等に働きかける等の取り組みをしております。また、町内自治会を立ち上げたいとの要望があった場合、窓口での対応や相談を実施しています。しかし、新規の建物が建った際に自治会結成を働きかけることについては、区側からは出来ていな

い状況です。

#### 4. (2) 地域運営委員会の設立について

- 地域運営会の説明会が前回開催の平成27年度から今回開催までかなり時間が空いているが理由を聞きたい。

<区役所>

空白期間については手が回らず開催できませんでした。また、平成27年度にいただいた課題を庁内解決することに時間がかかってしまいました。ご迷惑をおかけしてしまい大変申し訳ございません。

- 市全体で地域運営会の結成率が低いが、その理由と今後の対策について聞きたい。

<市民自治推進課>

市内を中学校区に分けると49地区あり、その内17地区が設立済みですが、設立状況について芳しいとは言えません。しかし、地域運営委員会の制度自体が平成26年度から始動したものであるうえ、各団体・地域ごとに課題が異なり、合意形成に時間がかかることを踏まえ、現状の結成状況についてはやむを得ないと考えております。また、市側から強制的に結成を促進することも趣旨と異なるため、団体の合意形成待ちとなってしまう面があります。

また、未設立地区に対しては、合意形成を促すためのアドバイザーの派遣や、地域運営委員会経験者による説明会を実施・検討しています。

- 他政令市で地域運営委員会に類似する制度を立ち上げる動きはあるのか。

<市民自治推進課>

福岡市で自治協議会という活動があります。

- 地域運営委員会の経費について、設立準備に要する経費（設立支援補助金）、地域課題解決に向けた取り組みに要する経費（活動支援補助金）とあるが、具体的にどういった経費が補助の対象になるのか。

<市民自治推進課>

設立準備に要する経費（設立支援補助金）については、設立にかかわる会議に要する費用、有識者を呼び講演会を実施する費用、消耗品などが該当します。地

域課題解決に向けた取り組みに要する経費（活動支援補助金）については、活動を行う上での、消耗品、会議費用、研修に要する報償費などが該当します。地域運営交付金については、用途に関して広く間口を設けています。

- 椎名地区での地域運営委員会の設立に関して、一番の問題は「お金」の問題ではないのか。町内自治会が集めた会費の一部を社会福祉協議会（以下、社協）に回している。地域運営委員会が設立されて各団体の補助金が統合される中で、社協だけ別枠にするのはおかしい。

#### <市民自治推進課>

社協に自治会が資金を回していることと、市が地域運営委員会に補助金を出すことはまた別の話であり、補助金の支出自体は可能です。地域運営委員会の補助金は、地域運営委員会を構成する個別の団体に支給されるのではなく、地域運営委員会全体に一括で支給されます。

#### <区役所>

地域運営委員会の開催にかかった費用は、現在市から各団体に支給されている補助金（負担金）から捻出するのではなく、設立支援補助金から捻出することができます。各団体に支給されている補助金に加えて、地域運営委員会という組織の補助金が上乘せされると考えていただきたい。

また、地域運営委員会の開催の形態として、美浜区の事例となりますが、地区連の会議がある日に同時開催したり、地区連の会議を地域運営委員会として実施している例もございます。申請の一本化も含めて、団体の負担を軽減する形で動きたいと考えています。

最後に、地域運営交付金についてですが、交付金については各団体で分配割合を按分して使うことができます。しかし、そのような方法だと分配の検討に負担がかかるため、地域運営交付金まで申請せず活動支援補助金の申請にとどまっている団体も多く存在します。

- 地域運営委員会としてイベントを行う際に、社協が地域運営交付金に補助金を統合せずにいる場合、お金の支出についてどのように考えるべきか。

#### <市民自治推進課>

金額としてはあくまで例ではありますが、仮に総額20万円の事業を合同で実施する場合、地域運営委員会の地域運営交付金から10万円、社協から10万円の資金を出し合うことで実行が可能です。

- 話を聞いていて地域運営委員会は有事の際に高齢者・障害者への支援を行う母体として重要だと感じた。しかし、要支援者名簿をすべての自治会が所持しているわけでは無いこと、地区の民生委員が少ないことなどから、有事の際に対応できるか疑問がある。平常時から制度について見直しを行わないと、設立をしたとしても有事の際に機能しないのではないか。

#### <区役所>

要支援者名簿の取り扱いについては既に規定していますが、有事の際に規定通りに動けるかは確かに疑問が残ります。災害時には柔軟な対応が必要なことも含めて、地域運営委員会も含めた見直しを検討していきたいと考えています。

- 地域運営委員会の結成について合意形成が遅れているとのことだが、そもそも何故合意形成に遅れが生じるのか。

#### <市民自治推進課>

合意形成がうまくいっている地域は、中心となる人物や有識者が在籍している場合、共通の課題がある場合が多いです。合意形成がうまくいっていない地域は、各団体がお互いの活動を把握できていない場合が多く、そうすると、意識共有から始めていくしかないため、結果として時間がかかってしまっています。

- 椎名地区の課題（村田川の氾濫、刈田子町・富岡町のがけ崩れ、椎名小学校前の計画が頓挫した道路、杉山地区水環境施設の下流がゴミだらけで池も干上がっている、中西団地の音の問題、緊急時の農業用井戸の取り扱い）に取り掛かろうとしたときに、自治会長が一年で交代してしまうため、なかなか解決に向かわない現状がある。こうした問題に地域運営委員会として取り組みたいが、場所・拠点の確保はどうすればいいか。

#### <市民自治推進課>

地域運営委員会が設立した暁には、公共施設の空きスペースの確保や、公民館の利用について教育委員会への打診を実施いたします。また、書類整理のためのキャビネットの設置なども視野に入れて動くことも可能です。

- 今日出た内容は過去三回の会議も含めて何も進展していないと感じる。具体的な形を提案してほしい。

- 設立済みの地区から、やり方・ノウハウなどを具体例として教えていただきたい。また、今回の開催の案内が来たのが2週間前と直近すぎます。場所も椎名公民館を検討してもらいたい。

<区役所>

大変申し訳ございません。事前の準備、やり方について改善いたします。

- ※参考としての発言。区役所に回答を求めてのものではない  
地域運営委員会の構成主要5団体に地区スポーツ振興会があるが、椎名地区スポーツ振興会は全ての自治会が参加しているわけではない。すべての自治会がスポーツ振興会に加入したうえで、地域運営委員会の加入について同意をとる必要があると感じているため、地域運営委員会の加入については即断できない。

閉会